MRI 検査における造影剤の説明書

検査の目的、必要性については検査依頼医師より説明を受けられたと思われます。今回の検査はガドリニウムという成分を含んだお薬（造影剤）を用いた検査となる予定ですので以下に説明致します。

造影剤を使用した場合、病気になっている部分や肝臓、腎臓、血管などの血流が多い臓器がより鮮明に写し出されるので、病気の正確な診断が可能となり治療法の決定に有益な情報を得ることができます。

造影剤は手または足の静脈より、点滴もしくは自動注入器（機械）を使って、患者様の体重に合わせて、5～20mL を静脈内に注射します。

荒尾市立有明医療センターでは、低浸透圧、低粘度で、生体内での高い安定性を有する副作用の少ない安全なお薬を使用しています。しかし、発疹（0.2%）、発赤（0.1%）、じん麻疹（0.1%）、発汗（0.1%）、嘔吐（0.1%）、下痢（0.1%）、気分不快感（0.1%）、温熱感（0.2%）などの副作用が現れる場合があります。さらに非常にまれですが、10 万人中 2～3 人程は、けいれん、腎不全、血圧低下、意識消失、ショック等となり入院治療を必要とすることがあります。それらより回復しない場合、死亡例が報告されています（311 万人に 1 人）。

もし、この様な副作用が出現した場合は、画像診断・治療科医師をはじめ、院内のできる限りの医師、看護師、診療放射線技師が対処致します。

特に、①患者本人もしくは血縁者に喘息やアレルギー体質の人がいる
②以前の造影剤で気分が悪くなったことがある
③重い心臓、肝臓、腎臓の病気がある
④その他、危険因子があると推定される

の場合は、造影剤の副作用の出現する頻度が 2～9 倍高くなることも報告されています。

検査終了後、数時間から数日以上たって発疹、かゆみ、発熱、吐き気などのアレルギー症状が稀に見られる場合があります。症状がひどい場合や持続する場合には受診された医院、診療科、または放射線技術科にご相談ください。診療時間外（午後 5 時 15 分　以降）であれば救急外来を受診されてください。

MRI 検査の場合、原則として食事は普通に摂られてかまいません。

ただし、腹部の MRI 検査となる可能性がある場合は、検査の前の一回分の食事はしないでください。お薬を飲まれる分はかまいません。

検査終了後は、造影剤は尿とともに排泄されますので、排泄を促進するためにできるだけ水分（水やお茶など）をお摂りください。

※ご不明の点など何かありましたら下記までご連絡ください。

荒尾市立有明医療センター　画像診断部　☎0968-63-1115

造影剤使用同意書のお願い

患者様の病気によっては、CT、MRI、その他の検査を行う際に、「造影剤」という薬剤を使用することがあります。検査の時に、病変をより鮮明に抽出するための薬剤です。

ただ、この薬剤は、患者様の体質によっては、副作用が出現することがあります。詳しくは別紙の説明書をお読みください。もし、説明書に記載されている内容に納得され、造影剤使用を承諾して頂けるようであれば、別紙の同意書に署名をして、検査予約日に荒尾市立有明医療センターまで持参してください。

アレルギー体質や喘息など、説明書記載の事項に該当する点がありましたら、基本的には造影剤を投与しないで検査することになりますが、最終的には疑われる病変の程度や状態を考慮し、患者様と良く相談した上で、造影剤を使用するかどうか決定いたします。

なお、造影剤の種類につきましては、複数の安全性の高い造影剤を採用していますので、検査担当医師の判断に一任させて頂ければ幸いです。もし、造影剤の種類についてのご希望があれば、あらかじめ検査担当者に申しつけてください。

荒尾市立有明医療センターでは、安全かつ信頼度の高い検査を実施していきたいと思っておりますので、大変ご面倒ですが、ご協力をお願いいたします。不安な点、疑問点などがありましたら、遠慮されることなく申し出てください。

造影剤使用同意書のお願い

荒尾市病院事業管理者　様

　私は、検査のために造影剤を必要とする理由と、その副作用等について、別紙の説明書を読み、また担当医より説明を聞き、納得いたしましたので、検査および造影剤の使用に同意します。

特に、①患者本人もしくは血縁者に喘息やアレルギー体質の人がいる
②以前の造影剤で気分が悪くなったことがある
③重い心臓、肝臓、腎臓の病気がある
④その他、危険因子があると推定される
などの場合は、造影剤の副作用の出現する頻度が高くなることも了解しました。

年　　月　　日

（患者氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（代筆者）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（続柄　　）

※患者様本人が未成年の場合、あるいは自分で署名できないと思われる場合は、他の方が代筆されてください。

（説明医師）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿